



平成 27 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 Gunosy
代 表 者 名 代表取締役 福 島 良 典
最高経営責任者
(コード番号：6047 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 伊 藤 光 茂
最高財務責任者
(TEL. 03-6455-4560)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 4 月 28 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 27 年 5 月期（平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日）における当社の業績予想は、以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円・%)

項 目	決算期		平成 27 年 5 月期 (予想)		平成 27 年 5 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 5 月期 (実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売 上 高	3,004	100.0	736.8	2,170	100.0	359	100.0	
営 業 損 益	51	1.7	—	△95	—	△1,358	—	
経 常 損 益	5	0.2	—	△101	—	△1,365	—	
当 期 (四 半 期) 純 損 益	5	0.2	—	△103	—	△1,393	—	
1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 損 益	0 円 29 銭		△5 円 64 銭		△93 円 37 銭			
1 株 当 た り 配 当 金	0 円 00 銭		—		0 円 00 銭			

- (注) 1. 平成 26 年 5 月期（実績）及び平成 27 年 5 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純損失は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 27 年 5 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数（3,500,000 株）を含めた予定期平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 26 年 4 月 9 日付で、株式 1 株につき 100 株の割合で、平成 26 年 12 月 29 日付で株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。上記では平成 26 年 5 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純損益を算出しております。
3. 当社を取り巻く経営環境につきましては、スマートフォンの更なる普及とインターネット広告市場の継続的な成長が見込まれると考えております。
- 平成 27 年 5 月期の業績予想の策定にあたり、ダウンロード（以下、DL といいます）数、売上高及び費用について、それぞれ下記のような策定方法を採用しております。

(1) DL 数

新規 DL 数については、投下予定の広告宣伝費及び 1 DL 当たりの獲得費用（広告宣伝費÷新規 DL 数）の過去実績、今後獲得効率が低下する可能性等を勘案して算出しております。なお、当第 3 四半期末における累積 DL 数は 866 万 DL であり、当期末における累積 DL 数は 924 万 DL に達するとの前提

の下、業績予想を策定しております。

(2) 売上高

「Gunosy Ads」については、DL数、DLしたユーザーの継続率、継続したユーザー当たりの収益性の過去実績等を勘案して算出しております。アドネットワークについては、過去実績を踏まえて算出しております。

(3) 売上原価

人員計画から算出した人件費、サーバー費用等の過去実績を勘案して算出しております。

(4) 販売費及び一般管理費

広告宣伝費として、当第3四半期累計期間で1,615百万円を計上し、前提としている上記のDL数を獲得するために平成27年5月期通期で1,919百万円の計上を見込むほか、人員計画から算出した人件費、その他家賃等の費用の過去実績等を勘案して算出しております。

当第3四半期累計期間までの業績は、売上高2,170百万円、経常損失101百万円、四半期純損失103百万円となっておりますが、当第3四半期会計期間ではDL数等の増加に伴い売上高が伸長し、売上高892百万円、経常利益198百万円及び四半期純利益197百万円を計上し、黒字化しております。

当社は、当第4四半期会計期間におきましても、累積DL数924万DLを達成するために必要な広告宣伝費を投下し、新規ユーザーの獲得を推進する方針であります。なお、営業外費用として上場関連費用を計上する予定であります。また、平成26年12月よりサービスを開始いたしました「Gunosy Platform」におけるコンテンツの拡充を予定しているものの、当社の業績に影響を及ぼす段階ではなく、当面は、損益構造の変化はないものと見込んでおります。

平成27年5月期通期(平成26年6月1日～平成27年5月31日)の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び上記の当第4四半期会計期間の前提を踏まえ、売上高3,004百万円、経常利益5百万円、当期純利益5百万円と見込んでおります。

- ※1. 当社の事業にとってユーザー数の増加は非常に重要な要素であり、テレビCM等を用いた広告宣伝活動を積極的に実施しユーザー数の増加を図っております。広告宣伝活動につきましては、ユーザー獲得効率を勘案の上、都度、最適な施策を実施しておりますが、必ずしも当社の想定通りに推移するとは限らず、当該施策が当社の想定通りに推移しない場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。
- ※2. 当社の事業にとって獲得したユーザーの継続率は非常に重要な要素であり、ユーザーの利便性向上や情報キュレーションアプリとして取り扱う情報やサービスの充実等の施策を通じて、継続率の維持、向上を図っております。事業計画の策定においては、獲得ユーザーの継続率を過去実績等に基づき推定しておりますが、何らかの施策の見誤りやトラブル等で継続ユーザーが減少し、想定通りの継続率とならない場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。
- ※3. 平成27年5月期における当社の業績予想は、利益の絶対額が少額であるため、売上高や費用の変動が小規模であっても業績予想の開示基準に該当し、業績予想の修正等の開示を行う可能性があります。



平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月28日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL http://gunosy.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 最高経営責任者(氏名)福島 良典
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 最高財務責任者(氏名)伊藤 光茂 (TEL) 03(6455)4560
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の業績(平成26年6月1日~平成27年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	2,170	—	△95	—	△101	—	△103	—
26年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	△5.64	—
26年5月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成26年5月期第3四半期の実績及び増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成26年12月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社は非上場であり、期中平均株価が把握できず、かつ1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第3四半期	1,577	1,296	82.2
26年5月期	689	608	88.2

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 1,296百万円 26年5月期 608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円 3,004	% —	百万円 51	% —	百万円 5	% —	百万円 5	% —	円 銭 0.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年5月期3Q	18,378,000株	26年5月期	17,160,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年5月期3Q	—株	26年5月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年5月期3Q	18,340,923株	26年5月期3Q	—株
----------	-------------	----------	----

（注）1. 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成26年5月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、平成26年12月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成26年12月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社をとりまく経営環境につきましては、スマートフォン契約数が平成26年12月末現在、6,544万件と前年同月末比で1,216万件増加し、スマートフォンは急速に普及しており（株式会社MM総研調べ）、また、平成26年の広告費は6兆1,522億円と3年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比112.1%の1兆519億円と、初めて1兆円を超え、広告費全体の成長率を超える成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社は、当四半期会計期間において、「Gunosy Platform」を構築し、「Gunosy（グノシー）」上において、提携企業の各種情報やコンテンツサービスの提供を開始いたしました。情報キュレーションアプリとして取り扱う情報の範囲を拡張し、「Gunosy（グノシー）」を通じ商品やサービスの予約・購買まで一貫して行える仕組みを提供することにより、更なるユーザーの獲得、広告収益の増加と、新たな収益基盤の構築に取り組んでおります。

収益面に関しては、Gunosy Adsに係る売上高が順調に伸長し、当第3四半期累計期間で2,037百万円を計上したことに加え、当第1四半期会計期間から開始したアドネットワークに係る売上高も順調に伸長し、132百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費1,615百万円を計上したほか、人材の積極的な採用を実施したことにより人件費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高2,170百万円、経常損失101百万円、四半期純損失103百万円となりました。

なお、ダウンロード（以下、「DL」という）数は当第3四半期会計期間末において866万DLとなり、前事業年度末比で514万DLの増加となりました。

当社は、メディア事業のみの単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末に比べて887百万円増加し、1,577百万円となりました。これは主に、株式の発行による現金及び預金の増加（前事業年度末比587百万円の増加）及び売掛金の増加（前事業年度末比203百万円の増加）によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計につきましては、前事業年度末に比べて199百万円増加し、280百万円となりました。これは主に、その他の流動負債の増加（前事業年度末比155百万円の増加）及び買掛金の増加（前事業年度末比45百万円の増加）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて688百万円増加し、1,296百万円となりました。これは主に、株式の発行による資本金の増加（前事業年度末比395百万円の増加）及び資本準備金の増加（前事業年度末比395百万円の増加）があった一方で、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末比103百万円の減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く経営環境につきましては、スマートフォンの更なる普及とインターネット広告市場の継続的な成長が見込まれると考えております。

平成27年5月期の業績予想の策定にあたり、DL数、売上高及び費用について、それぞれ下記のような策定方法を採用しております。

①DL数

新規DL数については、投下予定の広告宣伝費及び1DL当たりの獲得費用（広告宣伝費÷新規DL数）の過去実績、今後獲得効率が低下する可能性等を勘案して算出しております。なお、当第3四半期末における累積DL数は866万DLであり、当期末における累積DL数は924万DLに達するとの前提の下、業績予想を策定しております。

②売上高

「Gunosy Ads」については、DL数、DLしたユーザーの継続率、継続したユーザー当たりの収益性の過去実績等を勘案して算出しております。アドネットワークについては、過去実績を踏まえて算出しております。

③売上原価

人員計画から算出した人件費、サーバー費用等の過去実績を勘案して算出しております。

④販売費及び一般管理費

広告宣伝費として、当第3四半期累計期間で1,615百万円を計上し、前提としている上記のDL数を獲得するために平成27年5月期通期で1,919百万円の計上を見込むほか、人員計画から算出した人件費、その他家賃等の費用の過去実績等を勘案して算出しております。

当第3四半期累計期間までの業績は、売上高2,170百万円、経常損失101百万円、四半期純損失103百万円となっておりますが、当第3四半期会計期間ではDL数等の増加に伴い売上高が伸長し、売上高892百万円、経常利益198百万円及び四半期純利益197百万円を計上し、黒字化しております。

当社は、当第4四半期会計期間におきましても、累積DL数924万DLを達成するために必要な広告宣伝費を投下し、新規ユーザーの獲得を推進する方針であります。なお、営業外費用として上場関連費用を計上する予定であります。また、平成26年12月よりサービスを開始いたしました「Gunosy Platform」におけるコンテンツの拡充を予定しているものの、当社の業績に影響を及ぼす段階ではなく、当面は、損益構造の変化はないものと見込んでおります。

平成27年5月期通期(平成26年6月1日～平成27年5月31日)の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び上記の当第4四半期会計期間の前提を踏まえ、売上高3,004百万円、経常利益5百万円、当期純利益5百万円と見込んでおります。

- (注) 1. 当社の事業にとってユーザー数の増加は非常に重要な要素であり、テレビCM等を用いた広告宣伝活動を積極的に実施しユーザー数の増加を図っております。広告宣伝活動につきましては、ユーザー獲得効率を勘案の上、都度、最適な施策を実施しておりますが、必ずしも当社の想定通りに推移するとは限らず、当該施策が当社の想定通りに推移しない場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。
2. 当社の事業にとって獲得したユーザーの継続率は非常に重要な要素であり、ユーザーの利便性向上や情報キュレーションアプリとして取り扱う情報やサービスの充実等の施策を通じて、継続率の維持、向上を図っております。事業計画の策定においては、獲得ユーザーの継続率を過去実績等に基づき推定しておりますが、何らかの施策の見誤りやトラブル等で継続ユーザーが減少し、想定通りの継続率とならない場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。
3. 平成27年5月期における当社の業績予想は、利益の絶対額が少額であるため、売上高や費用の変動が小規模であっても業績予想の開示基準に該当し、業績予想の修正等の開示を行う可能性があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,905	1,050,124
売掛金	134,407	338,057
その他	81,613	19,078
流動資産合計	678,926	1,407,260
固定資産		
有形固定資産	1,008	43,953
無形固定資産	4,875	4,427
投資その他の資産	4,931	121,617
固定資産合計	10,814	169,998
資産合計	689,741	1,577,258
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	45,137
未払法人税等	5,245	4,029
その他	76,310	231,558
流動負債合計	81,556	280,726
負債合計	81,556	280,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,615	1,419,465
資本剰余金	1,023,465	1,419,315
利益剰余金	△1,438,894	△1,542,247
株主資本合計	608,185	1,296,532
純資産合計	608,185	1,296,532
負債純資産合計	689,741	1,577,258

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)
売上高	2,170,028
売上原価	291,377
売上総利益	1,878,650
販売費及び一般管理費	1,974,136
営業損失(△)	△95,485
営業外収益	
受取利息	198
その他	662
営業外収益合計	860
営業外費用	
支払利息	21
株式交付費	2,771
株式公開費用	2,369
為替差損	1,848
営業外費用合計	7,010
経常損失(△)	△101,634
税引前四半期純損失(△)	△101,634
法人税、住民税及び事業税	1,717
法人税等合計	1,717
四半期純損失(△)	△103,352

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月6日及び平成26年6月30日を払込期日とする第三者割当増資を実施しました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が395百万円、資本準備金が395百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,419百万円、資本準備金が1,419百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。